

沈埋工法(プラス工法)

NETIS掲載期間終了技術(旧登録番号SK-060010-VR)

沈埋工法(プラス工法)の特長

鋼矢板など山留めの代わりに掘削安定液(泥水)を満たしながら掘削、ボックスカルバートや管・人孔を吊り降ろし、周囲にセメントを混ぜて固める工法です。基礎を必要とせず、全周が均一な泥水固化物で防護されるので、水密性に優れます。不等沈下の心配がなく、地震時にも浮上や沈下がみられません。実用化されて30年、狭い場所や軟弱地盤から砂礫・玉石地盤まであらゆる所に対応できます。

施工手順

1 施工前



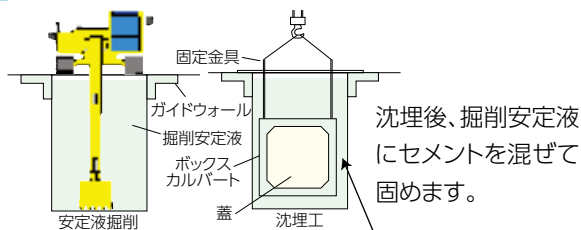
今回は開水路を暗渠にします。
軟弱地盤で、この先家屋が近接しています。

4 ボックスカルバート沈埋、安定液固化



黄色いジャッキが先行ボックスカルバートを引き寄せます。掘削幅はボックスカルバート+30cmです。

2 ガイドウォール築造・プラント設置、安定液掘削



5 すきとり、ガイドウォール撤去



沈埋した上は歩道になり、車道と分離されます。

3 ボックスカルバート搬入



沈埋作業に必要な機材を取り付けます。



ボックスカルバート内部

施工状況(愛知県岡崎市)

ボックスカルバートのサイズ 内幅2600×内高1300×長さ1500(単位mm)

1 掘削安定液



5 急硬剤投入



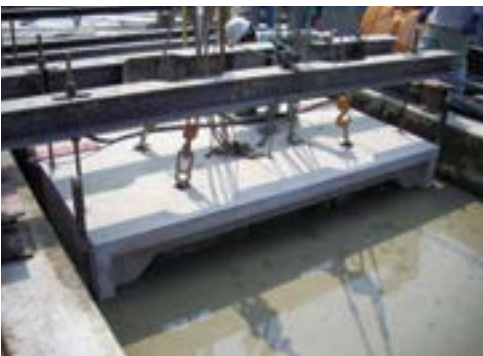
2 沈埋開始



6 安定液攪拌



3 沈埋完了



7 安定液固化まで吊り金具により保持



4 レベル調整



8 安定液固化後に吊り金具撤去



製品概要

インフォメーション

NETIS登録製品

水路

雨水貯留

擁壁

補強土工

テクスパン工法

電線類
地中化製品

道路

ます

景観

耐震性
貯水槽

スポーツ
ウォール

その他製品

会社案内

沈埋工法(プラス工法)施工例

沈埋工法(プラス工法)



製品概要

インフォメーション

NETIS登録製品

水路

雨水貯留

擁壁

補強土工

テクスパン工法

電線類地中化製品

道路

ます

景観

耐震性貯水槽

スポーツウォール

その他製品

会社案内

